

開催報告 2019.2.6-7

2月6日(水)7日(木)の両日、名古屋・吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)において、協会主催のET・IoT Technology NAGOYAが開催された。本展はTECH Biz EXPO(主催:名古屋国際見本委員会、名古屋産業振興公社)と、フロンティア21エレクトロニクスショー(主催:中部エレクトロニクス振興会)との同時開催として初開催されたもの。

名古屋圏は、自動車産業をはじめ製造業において高度な技術力、製造力を有している。モビリティ、FA、ロボティクス等、様々なIoTシステムや組込み機器の設計・開発・サービスに携わる技術者をコアターゲットに技術・ソリューション展示と専門セミナーで最新の技術情報を発信した。

展示ホールでは121社・団体が集結、先端を行くテクノロジーやソリューションを展示紹介した。会期2日間で10,518人の来場者が集まった。

また会期中にはET・IoT名古屋として基調講演、JASA技術本部セミナーほか20の専門セミナーを実施。注目される技術トレンドや旬の技術テーマをキャッチアップし、貴重な情報を届けた。(基調講演のタイトル、講演者は下表参照)

昨年の2月には政策動向、セーフティ&セキュリティ、AI&データ活用、産業IoTと自動化技術など10テーマで実施したET・IoT Technologyセミナーで1000人を超える聴講者を集め好評を博したが、今回の専門セミナーにも最新の技術動向を把



32社・団体が集結した展示会場。出展各社のブースを丹念に訪問する来場者も多く見受けられた

握しようと多くの聴講者を集めた。

なおJASA技術本部セミナーはエネルギーハーベスティングWG、状態遷移設計研究WG、アジャイル研究WG、安全仕様化WGより4セミナーを実施した。

各内容や会期の模様は詳細公開中の公式サイトをぜひご覧いただきたい。

▶ <http://www.jasa.or.jp/etnagoya/>



●ET・IoT Technology NAGOYA 2019 関連データ

- ・会期: 2019年2月6日(水)7日(木)
- ・会場: 吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)
- ・出展社数: 32社・団体(44小間) [全体 121社、190小間ベース]
- ・カンファレンス数: 20セッション
- ・来場者数: 10,518人(2日間合計、同時開催展含む)
- ・同時開催展: 第8回次世代ものづくり基盤技術産業展TECH Biz EXPO 2019
フロンティア21 エレクトロニクスショー 2019

●基調講演内容

RISC-Vの狙いと、IoT、AIエッジセキュリティの実現

SHコンサルティング(株) 河崎 俊平 氏

2020年のIoT/エッジコンピューティングを支える富士通の最新ネットワーク技術 ～ものづくりIoT、モビリティIoTへの適用と将来像

富士通(株) 大澤 達蔵 氏

“100年に一度”の大変革時代に組込み/IoT分野で求められること

(独)情報処理推進機構 片岡 晃 氏

AI/IoT・組込みテクノロジーが支えるコネクテッドマニュファクチャリング

日本電気(株) 山田 昭雄 氏

これからは始めるMBSE

～モデルベースでシステムズエンジニアリングを実施するとはどういうことか?

慶應義塾大学 白坂 成功 氏

デジタルトランスフォーメーションの推進と2025年の崖

～組込み/IoT産業が勝ち抜くために

経済産業省 和泉 憲明 氏

利用環境や目的から考えるIoTシステムの品質

～コンテキストを考慮した品質要求の明確化

名古屋大学 森崎 修司 氏

CASE時代の車載組込みシステムの動向と課題

名古屋大学 高田 広章 氏